



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「自分でスケジュールとルールを決めて、

夏期講習後半戦で勝利を収める」 富田

「 坪仙人 」 菅谷

皆さんこんにちは！

車道校 講師の富田
赤萩校 講師の菅谷 です。



今回のトピックスは2部構成です。

ぜひ、ご一読ください！

● 8月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	9/1	9/2	9/3



坪田塾
TSUBOTA JUKU

自分でスケジュールとルールを決めて、

夏期講習後半戦で勝利を収める

富田

こんにちは！車道校で講師をしています、富田と申します。

このトピックが届く頃には、

8月に入り、夏期講習も前半が終わっている、というところでしょうか。

受験生や医学部など最難関大学を受ける予定の生徒は

「夏休みを制するものは受験を制す」など、夏休みが結果を出す上で重要、
と言う話をしてもらい、夏期講習にのぞんでいるのではと思います。

正直なところ

「まじ1日15時間とか無理」

「夏期講習まではやる気満々だったけど、

いざ夏休みが入ってから思うようにいなくて・・・」

「1日12時間くらいまではできているけど、まだ目標に届かない」

なんて思っている方もいらっしゃるかと思います。

自分自身、当時は坪田先生のもとで、「1日16時間」と言う話を聞いていましたが、
はじめは「1日そんなに勉強するのはむり」って思っていました。

そんな中で、自分は最終的に1日16時間近くの勉強時間を確保することができました。

今回は、

そんな受験当時の富田くんの1日について暴露しようと思います！

(自分は夏期講習中にこの生活を続けて、

9月はじめに、慶応大学の英語の過去問をといて8割以上をとりました。

ちなみに合格最低点は65%ほどの年でした。)

当時の富田くんは、受験する年の夏休みはだいたい次のような生活をしていました。

(塾にいる時間が、今の塾の開校時間とすこし異なります)

10:00	起床
10:00~12:00	勉強
12:00~12:10	昼食
12:10~12:30	塾へ移動
12:30~18:00	塾で勉強
18:00~18:20	夕食
18:20~21:40	塾で勉強
21:40~22:00	家へ帰宅
22:00~02:00	勉強
02:00~02:10	シャワー
02:10~03:30	勉強
03:30	就寝

合計すると、大体 17 時間位になります。

休憩している時間などもありますが、それを差し引いて 16 時間くらいだと思います。

睡眠時間としてはだいたい 6~7 時間でした。

ですが、起きた瞬間から寝る瞬間まで勉強していれば 16 時間の勉強も可能です。

私、富田は塾長の指導のもと、**1 年で偏差値を 40 伸ばした**生徒のひとりでしたが、ここにその秘密の一つがあると思っています。

自分が当時ポイントとしていたのは、以下の**3 つ**です。

- ・自分がいつからいつまで何のチェックテストの勉強をするか、**決めておくこと**
- ・自分の決めた**時間は絶対に守る**こと（時間が足りないと思ったら、
全体的に、どこを優先的に理解するか、学習するかを決めて、時間内に収める）
- ・夏期講習全体の目標とは別に、自分なりに「**短期的な**」目標を決めておく
(今やっている和訳のテキストを、8 月 20 日までに終わらせる、など)

一日のすべてを、自分の行きたい大学に行く、

自分のやりたいことを実現するための時間にする。

これが大学合格への分かれ道です。

夏期講習の前半、順調だったと言う方も、そうでなかったと言う方も、

少しでも参考にさせていただきますと幸いです。

我々講師陣一同、あなたを支えていきます。

一緒に乗り越えて、目標達成に近づけましょう！！

「坪仙人」

菅谷

みんな、元気かろう！ってか、初めましてじゃのう。
ワシは坪田塾にずっと住んでおる、坪仙人じゃよ^^



このあいだワシが蚊と格闘しておったら、
急に坪田塾の講師たちが訪ねてきたんじゃ。

あいつら、ワシがついに蚊を仕留めようとしたまさにその瞬間、
「仙人ッ！！」と転がり込んできてのう。

臆病なワシは思わずビクツとして、
その間に蚊はワシの目の前を「ぷ～ん」と飛んでいきおったわ。
みんなも経験あると思うんじゃけど、あれは本当に悔しいのう！

しかもな、あいつら「今の時期に、塾生の心に響くメッセージをください！」
とうるさいんじゃ。

「僕たちが蚊を仕留めますから」って。

ワシは「そもそもお前らのせいで蚊を逃したんじゃが」と思ったけど、
とにかく書け書けとうるさいんじゃ。

まあなんか色々言ってたけど、

あいつら、とにかくみんなのことが大好きなようじゃよ^^

さて、ワシが今日みんなに伝えたいことは2つじゃ。

■1つめ；「**過去は過去。いつも、今ここからがスタート地点**」

このお便りがみんなの手元に届く頃には、夏休みも半分になるかのう。

きつと頑張っているみんなの中には、「この夏休み、出遅れた」とか

「思った以上に勉強が進まない」とか悩んでいる人もいるじゃろう。

一生懸命な証拠なんじゃ。

そんな時、どうするか??

答えはとてもシンプルなんじゃ。

「**過去は過去**」と切り替えること。

「いつも、**今ここからがスタート地点**」だと認識することじゃ。

ワシの師匠、坪ジイが言っとった。

「始めるのに遅すぎることは決してない。

好きな子ができたらすぐにアタックするんじゃ」とな。

まあ、坪ジイの場合は、毎日アタックしとったけどな^^

■2つめ；「勉強の気分転換は勉強で」

毎日頑張っていると、限界を感じることもあるのう。

ワシも、若い頃はそうじゃった。

テキストやテストもだんだん難しくなって

最初の頃のようにトントン進めなくなるし、

先生たちもだんだん厳しくなるし、心がくじけそうになることもあるじゃろう。

そんな時にありがちなのが、

「気分転換しよう！」とまったく別のことを始めてしまうことじゃ。

急に部屋を掃除し始めたり、スマホをポチポチしたり、

なんなら出かけてしまうことだってあるじゃろう。

だがな、はっきり言っておくぞ！

特に受験生の諸君！

そこに君たちの安らぎはない！

勉強から離れれば離れるほど焦りは大きくなるばかりじゃ。

しかも、せっかく頑張って身につけてきた知識もポロポロと抜けていくのじゃ。

じゃあ、どうすればいいんじゃない？？

それはな、「勉強の気分転換は勉強です」ことじゃ。

例えば、数学の問題に行き詰まったら英単語を覚える時間に切り替える。

それでペースが戻ってきたら数学に戻る。

また行き詰まったら自分が好きで取り組みやすい現代文に切り替える…

という感じじゃ。

ワシも仙人の修行で「浮遊」というのがあってのう。

若い頃は気を抜くと「ドーン！」と地面に落ちて痛い思いをしたもんじゃ。

そんな時、友達の仙人にLINEしたくなるのをこらえて

別の修行をしたもんじゃったよ。

まだまだ、夏の後半があるからのう！

うまくいっている人もそうでない人も、この2つのポイントを使いつつ、

坪田塾の先生たちと一緒に頑張っていくんじゃよ^^

そして、先生たちにいつでも相談したらいいんじゃからのう。

ワシも、みんなの成長を楽しみに応援しておるぞ！！

じゃあ、またの～^^